

2 学期始業式 校長講話

皆さん、おはようございます。いよいよ、夏休みが終わり、2学期が始まりました。

まず夏休みを振り返る話です。自分はどうかと考えながらきいてくれるとうれしいです。37日間もあったのに、校長先生はあっという間に感じました。休み前に、「日頃、学校というところは時間に追われて忙しいところです。時間にゆとりがある夏休みは、ゆっくりとすごして心身の疲れをとりましょう。そして、さまざまなことに積極的にチャレンジしましょう。」と話をしました。皆さん、実際に夏休みはどのように過ごせましたか。心身の疲れはとれましたか。さまざまなことに積極的にチャレンジできましたか。充実した夏休みでしたか。

校長先生は、今日、皆さんと顔を合わせることがとても楽しみにしていました。それは、夏休みあけには、「どこか少し成長した顔」を、たくさん感じることができるからです。例えば、真っ黒に日焼けした顔。例えば、勉強やスポーツなど何かをやりきってどこか自信をつけた顔。例えば、家族との時間を大切にして優しく穏やかになった顔。そんな顔が「どこか少し成長した顔」です。ぜひ、教室に戻ったら、あらためて友達の顔をみてみてください。きっと、「どこか少し成長した顔」をたくさん発見できると思います。充実した夏休みの証です。

逆に、皆さんのなかには、37日間も自分はいったい何をしていたんだろう。暑くて、ダラダラしていて、ちょっと充実していなかった。そんな人もいるかもしれません。もしそうであったなら、友達の「どこか少し成長した顔」に刺激を受けて、よし2学期は頑張ると自分の気持ちをふるいたたせてほしいです。

次に今日からの2学期についての話です。2学期は4か月間の長い学期です。文化祭、体育大会という学級や学年のみんなで作くりあげる2つの大きな行事があります。毎日の授業内容は難しくなっていきます。落ち着いて集中した授業が何よりも必要です。部活動では新チームへの代替わりがあります。3年生は、実力テストや懇談、説明会や体験入学など受験にむけたスケジュールが本格的に進んでいきます。各学年とも時間に追われる忙しい毎日になると思います。

そんな毎日で、校長先生が皆さん全員に強く望むこと。それは「前向きな気持ちと努力」をつづけることです。「前向きな気持ちと努力」がすべての成長の基本です。ぜひ、1人ひとりがそれぞれの「実りの秋」を獲得してほしいです。楽しみにしています。共に頑張りましょう。